

多久市の歴史を刻み 誕生から50年！

おかげさまで「市報多久」600号

昭和35年4月号



創刊号

昭和29年5月、1町4村の合併により多久市が誕生し、『市公民館報』から昭和35年4月に『多久市報』として第1号を創刊しました。この50年間、市報は読者のみなさんに支えられ、今回で600号を迎えることができました。多久市の歴史とともに、市民のみなさんの笑顔や市の情報などを綴った市報。今回は600号を記念して、読者代表の2組の方に市報への思いや今後への期待する言葉を寄せていただきました。また、時代のうつり変わりとともに変化していった表紙を並べましたので多久の歴史を振り返ったり、当時を思い出しなつかしくご覧下さい。

祝市報600号



尾形節子 さん（北多久町）

市報「多久」6月、600号おめでとうございます。50年間には担当者が数多く入れ替わり、それぞれの編集方針も練られたと思いますが、いずれも市民と共に、の姿勢を貫かれたことでしょう。35年4月創刊の1号を読みたい気がします。永い間ありがとうございました。

話変わって、今年の新春特集は読み応えがありました。市長、議長のご挨拶と、県外在住4人からの近況報告。一人は異郷で立派な家族をもった東部中の出身者。また他の一人は昔近所に住み、現在、東京国際空港長の要職にあるなどの人材を知り、在京の友らに市報を送り自慢しました。多久出身者と繋がるこの企画は大変よかったと思います。

次にこれを書く立場で考えたこと3つ。

一つ目は、現在は「市民文芸」欄があり、文芸部としては有難いのですが、他の文化部の活動も、写真と共にシリーズで紹介してほしい。

二つ目、高齢者の多い多久市だからこそ、その知恵や生活観をたずね、子供に伝えたいと思われる遊びなどの紹介がほしい。

三つ目は、多久に誘致された企業に働く人々の生の声を聞き、市民として身近に感じたい。

昭和47年11月号
No.138



誘致企業めぐり／
新明治佐賀炭鉱が閉山

昭和44年11月号
No.105



皇太子殿下はじめて
多久の地に

昭和39年4月号
No.45



市制施行10周年記念
特集号

この号からB5サイズになる。

昭和36年4月号
No.12



天皇后両陛下を
奉迎

創刊号から第44号までB4程度のサイズ。平均4ページでした。

600号の発行にあたり、表紙の移り変わりを並べてみました。（上段は発行年月 下段は表紙紹介と主な出来事）

昭和57年7月号
No.253



水不足深刻
雨乞祈願

昭和56年1月号
No.235



九州横断自動車道着工

昭和52年4月号
No.191



市民憲章決まる

昭和51年1月号
No.175



若楠国体

新年号カラー表紙になる。

昭和49年4月号
No.155



市制施行20周年記念
特集号